NIE実践報告

1．タイトル：☆NIEノートから学ぶ　ノーモアヒロシマ　ノーモアナガサキ

2．学校名

大阪府大阪市立湯里小学校

3．実践者名（代表者名）

前田　賀世

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会･道徳･総合　32人

6．単元（本時の学習課題）名

NIEノート(スクラップブック)を通して､戦争について知ろう。

7．目標(狙い)

戦争や原爆についての記事を読み､知識を広げたり様々な思いを感じたりできる。
１つのテーマの記事を複数読むことにより､読む力を深めることができる。

8．評価の視点

NIEノートのワークシートに意欲的に取り組めているか。(1.要約 2.感想 3.意味調べ)
戦争や原爆の記事を読むことにより､自分なりの考えや思いを持つことができているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

第1次　戦争について知っていることを話そう(総合:1時間)　第２次　「ヒロシマに歳はないんよ」を学習する(道徳:2時間)　第3次　スクラップ活動を行い､平和について考える(社会:2時間､総合:2時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

「NIEノート」というスクラップブックを1人1冊作成した。NIEノートでは､朝日小学生新聞の「新聞スクラップワークシート」を使用した。そこに､あらかじめ児童に読ませたい記事を貼り､(1)記事の要約(2)記事を読んだ感想(3)分からない言葉の意味調べ､を取り組ませた。
今回の実践では､毎日小学生新聞の特集記事「ノーモアヒロシマ　ノーモアナガサキ」(2009年8月)を使用し戦争や原爆について学習を進めることにした。道徳の教科書で戦争に関する物語を読んだ後､10の記事を1つひとつ丁寧に読み進めていった。1時間に2つの記事を読み､家庭学習にも取り入れた。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

戦争に関する知識や､戦争はしてはいけないという考えはあるものの､いくつもの記事を読み進めていくうちに様々な人の思いがあることを知ることができた。

12．成果と課題

今年度は､新聞に興味･関心のある児童の下､スムーズに実践を進めることができた。そして､1年を通してスクラップ活動を行うことによって､記事を読むスピードや内容をつかむ力がついてきた。1人1冊のNIEノートで活動することにより､多くの記事に出会えた。
自分から進んで新聞を読む･意味調べの時間が早くなった･文章を要約することが自然とできるようになってきたという児童もいれば､私の出す課題をこなすのが精一杯の児童もいる。しかし､1年間の実践経過を見てみると､児童一人ひとりの伸びは見られたので､有意義な実践が行えた。